

社会人基礎力・成長度調査 報告

2022年9月 IR室



学校法人 昌賢学園

群馬医療福祉大学 | 短期大学部

Gunma University of Health and Welfare
/ Two-year college Course

「仁」～思いやりで未来を創る大学～

目的

経産省が主催した有識者会議にて、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力を「社会人基礎力」として定義している。「社会人基礎力」は、1)アクション(主体性・働きかけ・実行力)、2)シンキング(課題発見力・計画力・想像力)、3)チームワーク(発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール)における3つの能力と12の能力要素で構成されている。

本学においては、“**ボランティア活動**”、“**環境美化活動**”、“**大学理念の浸透**”などの特色のある教育を実践しており、この教育は、「社会人基礎力」の強化につながるものと考え、その特色を行動面で確認できるような評価方法を開発し、可視化する目的で本調査を実施し行った。

対象

本学生1年生～4年生

調査実施期間：2021年度 2022年度 年度末オリエンテーション 2月中旬

方法

群馬医療福祉大学・短期大学部1～4年生に対して、本学独自で作成した社会人基礎力に関する調査項目に関して、調査の目的及び調査項目の回答方法について説明を行い、当大学のwebシステムを利用し、調査項目の回答を依頼し、回答を以て意思を確認する。

分析項目

- 学年進行による学生の成長度確認(2020年度・2021年度)
- 身につけている能力(学生の強み、弱み)の確認
- 社会福祉学部 サービスラーニング導入後の変化について
(現3年生 4年生)

社会人基礎力 評価作成 概要①

「社会人基礎力」における3つの能力と12の能力要素：

- 1)アクション(主体性・働きかけ・実行力)、
- 2)シンキング(課題発見力・計画力・想像力)、
- 3)チームワーク(発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール)。

専門教育においても、この「社会人基礎力」が専門性を発揮する基盤となり、質の高い専門職を育てることにつながると考える。

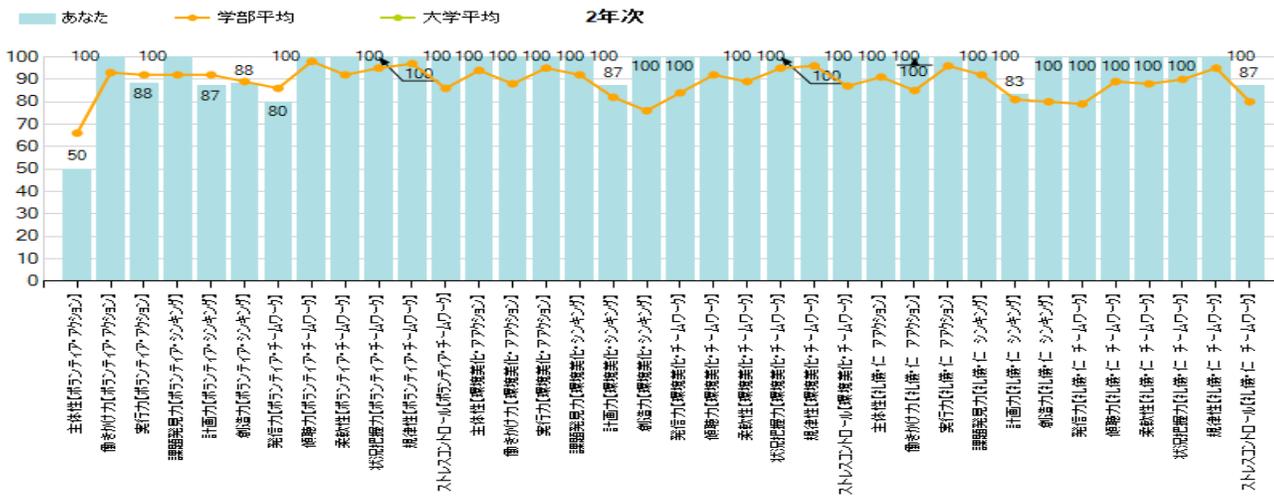
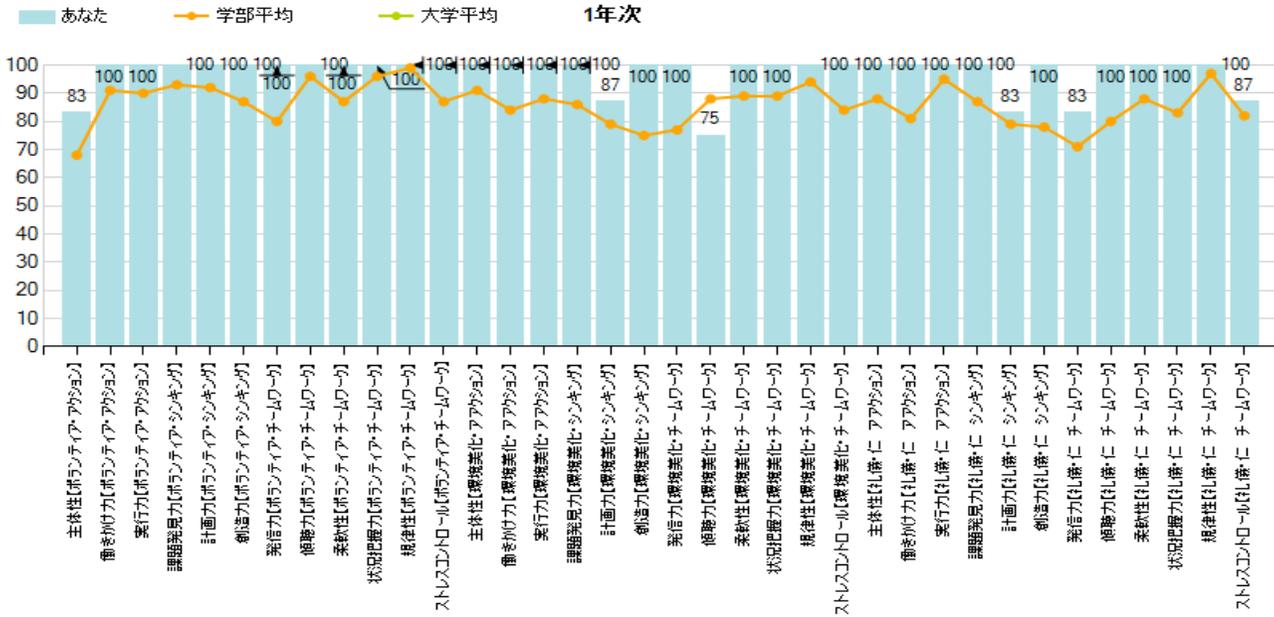
一方、この社会人基礎力を評価する手法は確立されていない。そのため、当大学の「社会人基礎力」の強化の取り組みである“**ボランティア活動**”、“**環境美化活動**”、“**大学理念の浸透**”などの特徴を行動面で確認（可視化）できる評価方法を2020年度から実施。

社会人基礎力 評価作成 概要②

3つの能力	12の能力要素	能力要素概要
前に踏み出す力 (アクション) 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力	主体性	物事に進んで取り組む力
	働きかけ力	他人に働きかけ巻き込む力
	実行力	目的を設定し確実に行動する力
考え抜く力 (シンキング) 疑問を持ち、考え抜く力	課題発見力	現状を分析し目的や課題を明らかにする力
	計画力	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
	創造力	新しい価値を生み出す力
チームで働く力 (チームワーク) 多様な人々とともに、目標に向けて協力する力	発信力	自分の意見をわかりやすく伝える力
	傾聴力	相手の意見を丁寧に聴く力
	柔軟性	意見の違いや立場の違いを理解する力
	状況把握力	自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
	規律性	社会のルールや人との約束を守る力
	ストレスコントロール力	ストレスの発生源に対応する力

- (1) ボランティア
 アクション：主体性(6項目)、働きかけ力(9項目)、実行力(9項目)の計24項目
 シンキング：課題発見力(7項目)、計画力(8項目)、創造力(9項目)の計24項目
 チームワーク：発信力(10項目)、傾聴力(7項目)、柔軟性(6項目)、状況把握力(7項目)、規律性(5項目)、ストレスコントロール(5項目)の計40項目
- (2) 環境美化
 アクション：主体性(7項目)、働きかけ力(7項目)、実行力(7項目)の計21項目
 シンキング：課題発見力(6項目)、計画力(8項目)、創造力(4項目)の計18項目
 チームワーク：発信力(4項目)、傾聴力(4項目)、柔軟性(4項目)、状況把握力(4項目)、規律性(4項目)、ストレスコントロール(4項目)の計24項目
- (3) 礼儀・仁
 アクション：主体性(7項目)、働きかけ力(6項目)、実行力(8項目)の計21項目
 シンキング：課題発見力(5項目)、計画力(6項目)、創造力(6項目)の計17項目
 チームワーク：発信力(6項目)、傾聴力(5項目)、柔軟性(7項目)、状況把握力(4項目)、規律性(7項目)、ストレスコントロール(8項目)の計38項目

社会人基礎力レポート



		1年次	学部平均	大学平均	2年次	学部平均	大学平均
ボランティア	主体性	83	68		50	66	
	働きかけ力	100	91		100	93	
	実行力	100	90		88	92	
	課題発見力	100	93		100	92	
	計画力	100	92		87	92	
	創造力	100	87		88	89	
	発信力	100	80		80	86	
	傾聴力	100	96		100	98	
	柔軟性	100	87		100	92	
	状況把握力	100	96		100	95	
	規律性	100	99		100	97	
	ストレスコントロール	100	87		100	86	
環境美化	主体性	100	91		100	94	
	働きかけ力	100	84		100	88	
	実行力	100	88		100	95	
	課題発見力	100	86		100	92	
	計画力	87	79		87	82	
	創造力	100	75		100	76	
	発信力	100	77		100	84	
傾聴力	75	88		100	92		

ボランティア活動に関する意識変化・成長度

		社会福祉学部					
学年		現3年生		現4年生			
項目		2020 1年	2021 2年	2020 2年	2021 3年	2021 3年	2021 3年
ボラン ティア	主体性	61	65	61	59		
	働きかけ力	89	92	84	86		
	実行力	88	90	82	85		
	課題発見力	86	89	82	89		
	計画力	88	89	84	88		
	創造力	87	87	80	76		
	発信力	76	79	75	80		
	傾聴力	96	96	91	95		
	柔軟性	91	92	90	95		
	状況把握力	93	93	88	91		
	規律性	95	95	92	95		
	ストレスコントロール	89	86	76	80		

		看護学部					
学年		現3年生		現4年生			
項目		2020 1年	2021 2年	2020 2年	2021 3年	2021 3年	2021 3年
ボラン ティア	主体性	74	64	73	72		
	働きかけ力	96	91	92	96		
	実行力	95	88	96	93		
	課題発見力	97	93	92	87		
	計画力	96	95	94	90		
	創造力	94	89	86	85		
	発信力	84	81	88	86		
	傾聴力	99	98	98	97		
	柔軟性	97	94	97	98		
	状況把握力	98	96	96	95		
	規律性	99	98	98	99		
	ストレスコントロール	88	90	93	96		

		リハビリテーション学部					
学年		現3年生		現4年生			
項目		2020 1年	2021 2年	2020 2年	2021 3年	2021 3年	2021 3年
ボラン ティア	主体性	68	66	71	72		
	働きかけ力	91	93	91	92		
	実行力	90	92	92	92		
	課題発見力	93	92	87	89		
	計画力	92	92	89	87		
	創造力	87	89	81	84		
	発信力	80	86	80	86		
	傾聴力	96	98	97	97		
	柔軟性	87	92	95	95		
	状況把握力	96	95	94	98		
	規律性	99	97	96	97		
	ストレスコントロール	87	86	87	93		

社会福祉学部、リハビリテーション学部では概ね学生自身の成長実感が得られた結果が出ている。コロナ禍において様々な活動が自粛となったが、**コロナ禍でもできる活動（資料配付や動画を配信等）を工夫して自治体や地域と連携して発信できた**ことが成長実感に繋がったと考えられる。さらに社会福祉学部ではサービスマーケティングの効果が大きいと言えよう。看護学部ではコロナ禍の影響を受け、対面授業及び活動の制限による影響を大きく受けた結果と考えられる。



社会福祉学部 サービスラーニング導入後の変化について

導入の経緯

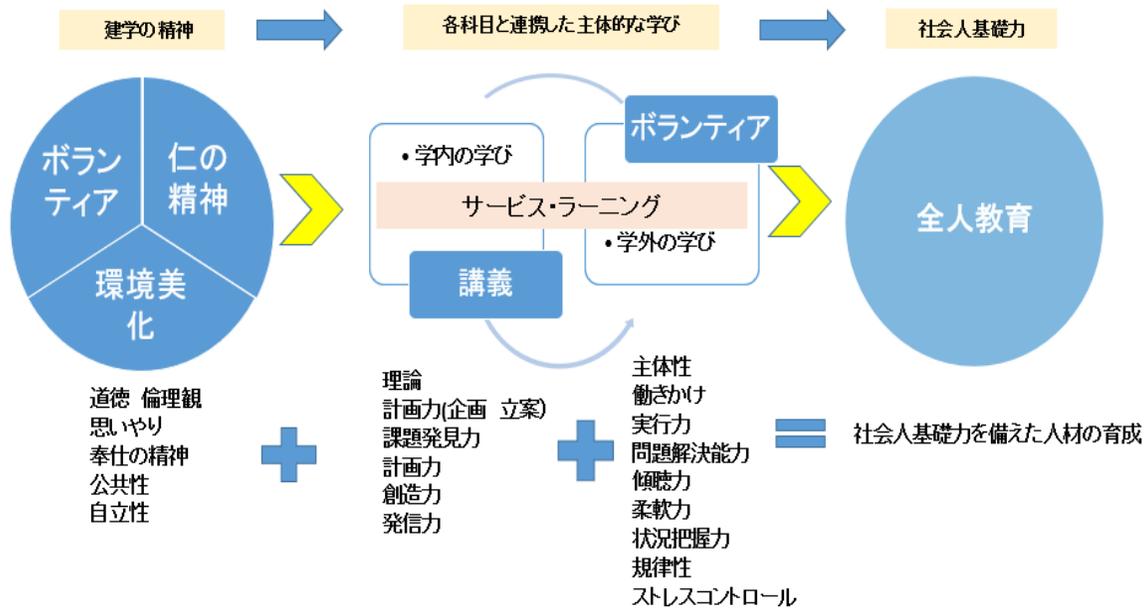
社会福祉学部では2020年度よりボランティアにおいて学生の受動的な活動から、より主体性を高め、専門的な知識や技術の習得だけでなく、汎用的技能や態度・志向性を身につけ、地域の身近な課題を発見し、その解決にむけて調査・分析から解決策の提示までを行うことを目的としたサービスラーニング科目を導入

授業の目的

地域の身近な課題を見つけ、その解決にむけて調査・分析から解決策の提示までを行う。

フィールドは大学近隣地域を始め、被災地や海外も含み授業で学んだ知識を活かし、プロジェクトの活動を実践する。こうした学外での活動体験から、学内で行われる授業などにフィードバックさせ、学生自身の学修を深化させる。また、地域社会等の中で様々な人々と関わりながらコミュニケーション能力、社会性、協調性、行動力といった能力を中心に培うことを目的とする。

【本学の教育プログラム上の位置づけ】



社会福祉学部 サービスラーニング導入後の変化について

科 目	③		①		
	サービスラーニング I ②	サービスラーニング II	ボランティアとサービスラーニング併用 (移行期間)		
	現3年生		現4年生		
学 年	現3年生		現4年生		
項 目	2020年度調査	2021年度調査	2020年度調査	2021年度調査	
ボランティア	主体性	61	65	61	59
	働きかけ力	89	92	84	86
	実行力	88	90	82	85
	課題発見力	86	89	82	89
	計画力	88	89	84	88
	創造力	87	87	80	76
	発信力	76	79	75	80
	傾聴力	96	96	91	95
	柔軟性	91	92	90	95
	状況把握力	93	93	88	91
	規律性	95	95	92	95
	ストレスコントロール	89	86	76	80

報告

- 現4年生はボランティアとサービスラーニングの移行期間であったため併用した実施となった。しかしながら①の比較のとおり、**サービスラーニング導入後**では、学生の**実行力、課題発見力、計画力、発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロールは3ポイント以上増加**。主体性創造力は減少ポイントとなったがコロナ渦における活動自粛が影響としたとも考えられる。
- 現3年生はサービスラーニング I 及び II を経験し②の比較のとおり**年間での伸張度**に大きな値の変化は見られなかったがストレスコントロール以外の数値は**ほとんどの項目で増加**となった。
- ボランティア活動 I とサービスラーニング I**を③のとおり比較すると**学生の伸張度は大きくサービスラーニングが上回った**ことがわかった。

※3ポイント以上の増加率があった項目をを→で表示
黄色は増加、赤は減少で表示した

環境美化活動に意識変化・成長度

社会福祉学部					
学年		現3年生		現4年生	
項目		2020 1年	2021 2年	2020 2年	2021 3年
環境美化	主体性	89	93	81	87
	働きかけ力	83	87	76	83
	実行力	87	93	80	87
	課題発見力	88	93	79	90
	計画力	77	81	77	80
	創造力	62	72	62	68
	発信力	77	81	76	78
	傾聴力	87	88	80	86
	柔軟性	90	88	80	85
	状況把握力	85	94	88	86
	規律性	94	94	90	88
	ストレスコントロール	81	89	77	78

看護学部					
学年		現3年生		現4年生	
項目		2020 1年	2021 2年	2020 2年	2021 3年
環境美化	主体性	97	94	96	95
	働きかけ力	90	88	90	88
	実行力	96	94	93	91
	課題発見力	94	93	89	92
	計画力	85	83	84	82
	創造力	81	71	86	82
	発信力	83	87	86	87
	傾聴力	92	89	96	92
	柔軟性	95	92	89	94
	状況把握力	96	98	98	95
	規律性	99	100	95	97
	ストレスコントロール	84	89	90	91

リハビリ学部					
学年		現3年生		現4年生	
項目		2020 1年	2021 2年	2020 2年	2021 3年
環境美化	主体性	91	94	90	95
	働きかけ力	84	88	89	92
	実行力	88	95	93	94
	課題発見力	86	92	93	91
	計画力	79	82	85	83
	創造力	75	76	74	74
	発信力	77	84	84	92
	傾聴力	88	92	87	91
	柔軟性	89	89	85	93
	状況把握力	89	95	93	94
	規律性	94	96	93	97
	ストレスコントロール	84	87	87	86

社会福祉学部、リハビリテーション学部では概ね学生自身の成長実感が得られた結果が出ている。看護学部ではコロナ禍による対面授業及び活動の制限による影響を大きく受けた結果により、減少した項目が多数に及んだと考えられる。

大学理念の浸透に関する意識変化・成長度

社会福祉学部					
学年		現3年生		現4年生	
項目		2020 1年	2021 2年	2020 2年	2021 3年
礼儀・仁の精神	主体性	88	93	83	87
	働きかけ力	84	86	69	76
	実行力	94	94	84	92
	課題発見力	87	88	81	85
	計画力	75	78	73	76
	創造力	79	80	61	79
	発信力	72	75	63	79
	傾聴力	76	79	69	81
	柔軟性	84	88	79	85
	状況把握力	82	89	75	84
	規律性	91	93	88	91
	ストレスコントロール	81	85	68	74

看護学部					
学年		現3年生		現4年生	
項目		2020 1年	2021 2年	2020 2年	2021 3年
礼儀・仁の精神	主体性	95	95	96	96
	働きかけ力	87	89	85	89
	実行力	97	98	98	95
	課題発見力	94	90	90	92
	計画力	79	82	82	82
	創造力	82	79	83	85
	発信力	77	75	76	80
	傾聴力	88	86	91	94
	柔軟性	88	90	89	93
	状況把握力	88	88	94	89
	規律性	98	99	96	96
	ストレスコントロール	83	84	85	91

リハビリ学部					
学年		現3年生		現4年生	
項目		2020 1年	2021 2年	2020 2年	2021 3年
礼儀・仁の精神	主体性	88	91	89	95
	働きかけ力	81	85	85	87
	実行力	95	96	92	97
	課題発見力	87	92	88	89
	計画力	79	81	81	81
	創造力	78	80	81	80
	発信力	71	79	80	81
	傾聴力	80	89	88	84
	柔軟性	88	88	90	90
	状況把握力	83	90	89	91
	規律性	97	95	94	97
	ストレスコントロール	82	80	84	83

項目によっては僅かな減少が見られるものの、どの学部も前年度と比較して礼儀・挨拶等の大学理念の重要性について**成長実感が得られたと回答した。**

真心を持って行動し善いことを行いで示す、この教育理念が学生に浸透している結果である。

本学生の強み・弱み

2021年度平均	社会福祉	看護	リハビリ	医療技術	短大	大学・短大平均
主体性	81.3	86.3	86.1	80.7	76.7	82.2
働きかけ力	84.8	90.2	89.9	82.0	83.0	86.0
実行力	90.4	94.0	94.2	89.3	86.3	90.9
課題発見力	89.1	91.9	91.4	88.3	78.7	87.9
計画力	82.2	85.4	84.9	81.3	77.0	82.2
創造力	76.9	83.0	80.7	76.7	71.3	77.7
発信力	78.6	83.1	84.1	70.7	71.3	77.6
傾聴力	88.3	93.0	91.9	89.7	85.3	89.6
柔軟性	88.8	92.7	91.1	88.7	86.7	89.6
状況把握力	89.2	93.8	93.4	90.0	81.3	89.6
規律性	92.9	98.1	96.4	94.7	90.7	94.6
ストレスコントロール	80.7	89.0	86.7	84.7	82.3	84.7

2021年度(2022年2月実施) 調査から“ボランティア活動”、“環境美化活動”、“大学理念”の浸透のそれぞれの項目ごとに平均値を抽出し、さらに4学部1学科の平均を出したグラフである。実行力と規律性が90%以上を超えているが、反対に創造力、発信力は80%以下となった。

まとめ

- **本学生の強み**・・・医療福祉従事者として決められたルールを守り、基本的態度などの実践を行うことができる。さらに相手の気持ちをくみ取り、必要に応じた対応が取れる**実行力や規律性**に富んでいる。
- **本学生の弱み**・・・何事につけ、新しいこと、未経験のことは苦手であり自分の意見を通したり伝えたりすること、また意見の結論を明確にし、論理的に相手に伝えようとする**創造力・発信力**が乏しいと感じている学生が多数いる。
- ボランティア活動とサービスラーニングでは**学生の満足感、成長実感は大きくサービスラーニングが上回った。**
- 看護学部においては2021年度調査において2020年度と比較すると、コロナ対策を厳格化したことにより、学生の活動が制限され、学生自身が成長実感を得にくい結果となった。

(感染対策と人的交流・対面での活動の両立が鍵となる)